



ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 「言葉にできる」は武器になる。
梅田 悟司著 日本経済新聞出版社
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2017年1月1日 Vol. 171
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊 敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

限りある時間

クラウドサービスで有名なDropboxのCEOドリュー・ヒューストンは、2013年の6月7日にアメリカのマサチューセッツ工科大学の卒業式でとても印象的なスピーチをしたのでご紹介します。

「ある晩、なんだか眠れなくてパソコンをいじってたら、『人生は三万日しかない』って誰かが書いてるのをみつけて、ふーんと思って最初は気にも留めなかったんだ。でも、ふと思い直して電卓をたたいてみたら、僕はそのときすでにもう9千日を消費してたんだ。その瞬間はさすがに焦ってこう思ったよ。僕って今までに何かを成し遂げたっけ？ってね。……おっと、君たちもう8千日くらいは過ぎたとこだったね。

その晩、僕は気づいたんだ。人生にウォームアップなんてない、練習試合なんてない。リセットボタンだってありゃしない。僕らは毎日、人生という物語に少しずつ言葉を書き綴っていつているんだ。

それに死ぬ時には、『ドリュー・ヒューストン。174番の成績で亡くなりました』なんて書かれやしない。だからその時から僕は、自分の人生を完璧主義で生きようと思うことをやめた。そのかわりに、自分の人生を面白くすることに決めたんだ。僕は自分の『物語』は、大冒険にしたかった。そしてその決意が、すべての始まりだったんだ。今日、みなさんに伝えたいことは、このことに尽きます。完璧な人生なんか目指さなくていい、大冒険の人生にしましょう！」……。

私たちは、年の初めにいろんな計画を立てます。今年はこれをしよう、あれをしよう。しかし、今年というスパンではなく、人生というスパンで考えてみるとどの位の日数をすでに過ごしてきたのだろうか？人生80年とすると、日数にすると3万日しかありません。27歳が1万日、54歳が2万日、80歳で3万日となる。

私は、今年54歳になるので、すでに2万日を過ごしてきたことになります。あと残り1万日を有意義なものにするためにいろんなことを計画してみたいと思います。

人生一度きりです。「忙しい」という言葉をよく口にしていますが“限りある時間”を大切に過ごして、悔いの残らないように生きたいと思っています。

皆様の今年一年が素敵なものになりますよう心からお祈り申し上げます。



Total Win

皆さんは、“Win-Win”という言葉から何を創造しますか？たぶん「私も勝って、あなたも勝つ」と考えるのではないのでしょうか。人との関係において、私とあなた双方に得のある良好な関係のことを示しています。世界的なベストセラーである「7つの習慣」で使われたことで広く知られるようになりました。

現在“Win-Win”という言葉は、サービスの提供側とそれを受ける側の2者間で使われることが圧倒的に多いですが、もっと視野を広げてみると、この“Win-Win”を支える土台が“Win-Lose”になっているなんてことがよくあります。

会社間は“Win-Win”なのに従業員が長期労働などで恩恵を受けていません。それだけでなく、下請け会社なども恩恵を受けていないことが多々あります。顧客のその先にはさらに顧客が居るかもしれません。

“Win-Win”と聞くと、どうしても2者間というごく狭い範囲で捉えてしまいがちです。ここだけに固執すると全体の質は下がってしまい、どこかで「Win-Lose」か「Lose-Win」のしわ寄せが来ます。

大切なのは限られた“Win-Win”を目指すのではなく、関係者全体の『Total Win』を目指すことが重要です。



【座右の銘にしたい名言】



山は西からも東からでも登れる。自分が方向を変えれば、新しい道はいくらでも開ける。

(松下幸之助/日本の実業家、発明家、パナソニック創業者)